那覇市感染症発生動向調查

※週報は速報値です

2025年第 9月8日 9月14日)

■全数把握対象感染症 全ての医師が、全ての対象感染症の発生について保健所に届出を行う感染症。

類型	感染症名	今週の受理件数	流行状況
2 類	結核	2 件	_
	侵襲性肺炎球菌感染症	2 件	
5 類	梅毒	1 件	_
•		3 件	今年累計175件 過去最多更新中

■定点把握対象の5類感染症

定点として指定された医療機関が、対象感染症を週ごとにとりまとめて保健 所に届出を行う感染症。

■その他

疾患名	流行状況	定点あたり	報告数	年齢階級別報告数					入院患者	
疾患名				0-4歳	5-9歳	10-14歳	15-19歳	20-59歳	60歳-	の届出数
急性呼吸器感染症		35.00	350	138	40	36	13	59	64	
インフルエンザ		2.60	26	4	7	6	2	7	0	1
新型コロナウイルス		3.50	35	1	1	2	0	13	18	3
RSウイルス		0.33	2	2	0	0	0	C)	
咽頭結膜熱		1.00	6	5	1	0	0	C)	
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		1.83	11	4	3	3	0	1		
感染性胃腸炎		6.50	39	10	6	5	2	1	6	
水痘		0.17	1	0	1	0	0	C)	
手足口病		1.50	9	9	0	0	0	C)	
伝染性紅斑	警報	2.00	12	6	4	1	0	1		
突発性発疹		0.67	4	4	0	0	0	C)	
ヘルパンギーナ		0.17	1	1	0	0	0	C)	
行性耳下腺炎 0.00 0 0 0		0	0	0						
急性出血性結膜炎	解除	0.00	0	0	0	0	0	0	0	
流行性角結膜炎		1.00	1	0	0	0	0	1	0	
細菌性髄膜炎(真菌性含む)		0.00	0	0	0	0	0	0	0	
無菌性髄膜炎		0.00	0	0	0	0	0	0	0	
マイコプラズマ肺炎		0.00	0	0	0	0	0	0	0	
クラミジア肺炎(オウム病除く)		0.00	0	0	0	0	0	0	0	
感染性胃腸炎(ロタウイルス)		0.00	0	0	0	0	0	0	0	
	インフルエンザ 新型コロナウイルス RSウイルス 因頭結膜熱 A群溶血性レンサ球菌咽頭炎 感染性胃腸炎 水痘 手足口病 云染性紅斑 突発性発疹 ヘルパンギーナ 流行性耳下腺炎 急性出血性結膜炎 流行性角結膜炎 細菌性髄膜炎 (真菌性含む) 無菌性髄膜炎 マイコプラズマ肺炎 (カシミジア肺炎 (対ム病除く)	インフルエンザ 新型コロナウイルス RSウイルス 咽頭結膜熱 A群溶血性レンサ球菌咽頭炎 感染性胃腸炎 水痘 手足口病 云染性紅斑 突発性発疹 ヘルパンギーナ 流行性耳下腺炎 急性出血性結膜炎 細菌性髄膜炎 (真菌性含む) 無菌性髄膜炎 マイコプラズマ肺炎 クラミジア肺炎(かム病除く) 感染性胃腸炎(ロタウイルス)	インフルエンザ 2.60 新型コロナウイルス 3.50 RSウイルス 0.33 烟頭結膜熱 1.00 A群溶血性レンサ球菌咽頭炎 1.83 感染性胃腸炎 6.50 水痘 0.17 手足口病 1.50 云染性紅斑 警報 2.00 次発性発疹 0.67 ヘルパンギーナ 0.17 流行性耳下腺炎 0.00 急性出血性結膜炎 解除 0.00 無菌性髄膜炎 0.00 東京世界肺炎 (カウのののののののののののののののののののののののののののののののののののの	インフルエンザ 2.60 26 新型コロナウイルス 3.50 35 RSウイルス 0.33 2 烟頭結膜熱 1.00 6 A群溶血性レンサ球菌咽頭炎 1.83 11 感染性胃腸炎 6.50 39 水痘 0.17 1 手足口病 1.50 9 云染性紅斑 警報 2.00 12 突発性発疹 0.67 4 ヘルパンギーナ 0.17 1 流行性耳下腺炎 0.00 0 急性出血性結膜炎 解除 0.00 0 無菌性髄膜炎 0.00 0 中菌性髄膜炎 0.00 0 マイコプラズマ肺炎 0.00 0 東美ジア肺炎(対抗病除く) 0.00 0 感染性胃腸炎(ロタウイルス) 0.00 0	インフルエンザ 2.60 26 4 新型コロナウイルス 3.50 35 1 RSウイルス 0.33 2 2 烟頭結膜熱 1.00 6 5 A群溶血性レンサ球菌咽頭炎 1.83 11 4 感染性胃腸炎 6.50 39 10 水痘 0.17 1 0 手足口病 1.50 9 9 云染性紅斑 ** 2.00 12 6 突発性発疹 0.67 4 4 ヘルパンギーナ 0.17 1 1 流行性耳下腺炎 0.00 0 0 急性出血性結膜炎 1.00 1 0 細菌性髄膜炎 (真菌性含む) 0.00 0 0 無菌性髄膜炎 0.00 0 0 マイコプラズマ肺炎 0.00 0 0 感染性胃腸炎 (ロタウイルス) 0.00 0 0 感染性胃腸炎 (ロタウイルス) 0.00 0 0	インフルエンザ 2.60 26 4 7 新型コロナウイルス 3.50 35 1 1 RSウイルス 0.33 2 2 0 烟頭結膜熱 1.00 6 5 1 A群溶血性レンサ球菌咽頭炎 1.83 11 4 3 感染性胃腸炎 6.50 39 10 6 水痘 0.17 1 0 1 手足口病 1.50 9 9 0 云染性紅斑 警報 2.00 12 6 4 突発性発疹 0.67 4 4 0 ヘルパンギーナ 0.17 1 1 0 流行性耳下腺炎 0.00 0 0 0 急性出血性結膜炎 1.00 1 0 0 無菌性髄膜炎 0.00 0 0 0 中菌性髄膜炎 0.00 0 0 0 中間 0.00 0 0 0 中間 0.00 0 0 0 中間 0.00 0 <	インフルエンザ 2.60 26 4 7 6 新型コロナウイルス 3.50 35 1 1 2 RSウイルス 0.33 2 2 0 0 四頭結膜熱 1.00 6 5 1 0 A群溶血性レンサ球菌咽頭炎 1.83 11 4 3 3 感染性胃腸炎 6.50 39 10 6 5 水痘 0.17 1 0 1 0 手足口病 1.50 9 9 0 0 云染性紅斑 警報 2.00 12 6 4 1 突発性発疹 0.67 4 4 0 0 流行性耳下腺炎 0.00 0 0 0 0 高性出血性結膜炎 解除 0.00 0 0 0 無菌性髄膜炎 (真菌性含む) 0.00 0 0 0 無菌性髄膜炎 (力分減時炎 0.00 0 0 0 のののののののののののののののののののののののののののののののののののの	インフルエンザ 2.60 26 4 7 6 2 新型コロナウイルス 3.50 35 1 1 2 0 RSウイルス 0.33 2 2 0 0 0 四頭結膜熱 1.00 6 5 1 0 0 A群溶血性レンサ球菌咽頭炎 1.83 11 4 3 3 0 感染性胃腸炎 6.50 39 10 6 5 2 水痘 0.17 1 0 1 0 0 手足口病 1.50 9 9 0 0 0 交発性発疹 0.67 4 4 0 0 0 へルパンギーナ 0.17 1 1 0 0 0 急性出血性結膜炎 解除 0.00 0 0 0 0 急性出血性結膜炎 1.00 1 0 0 0 0 電性出血性結膜炎 (真菌性含む) 0.00 0 0 0 0 0 電大性的療 (対力減減炎 0.00 0	インフルエンザ 2.60 26 4 7 6 2 7 新型コロナウイルス 3.50 35 1 1 2 0 13 RSウイルス 0.33 2 2 0 0 0 0 個頭結膜熱 1.00 6 5 1 0 0 0 A群溶血性レンサ球菌咽頭炎 6.50 39 10 6 5 2 1 水痘 0.17 1 0 1 0 0 0 0 手足口病 1.50 9 9 0 0 0 0 0 0 完発性発疹 0.67 4 4 0 0 0 0 0 0 本行性耳下腺炎 0.00 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 無付出再性結膜炎 解除 0.00 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 <t< th=""><th>インフルエンザ 2.60 26 4 7 6 2 7 0 新型コロナウイルス 3.50 35 1 1 2 0 18 RSウイルス 0.33 2 2 0 0 0 0 個頭結膜熱 1.00 6 5 1 0 0 0 A群溶血性レンサ球菌咽頭炎 1.83 11 4 3 3 0 1 水痘 0.17 1 0 1 0 0 0 手足口病 1.50 9 9 0 0 0 0 安発性発疹 0.67 4 4 0 0 0 0 ヘルパンギーナ 0.17 1 1 0 0 0 0 急性出血性結膜炎 解除 0.00 0 0 0 0 0 0 急性出血性結膜炎 解除 0.00 0 0 0 0 0 0 0 0 電子性主政 0.00 0 0 0 0 0</th></t<>	インフルエンザ 2.60 26 4 7 6 2 7 0 新型コロナウイルス 3.50 35 1 1 2 0 18 RSウイルス 0.33 2 2 0 0 0 0 個頭結膜熱 1.00 6 5 1 0 0 0 A群溶血性レンサ球菌咽頭炎 1.83 11 4 3 3 0 1 水痘 0.17 1 0 1 0 0 0 手足口病 1.50 9 9 0 0 0 0 安発性発疹 0.67 4 4 0 0 0 0 ヘルパンギーナ 0.17 1 1 0 0 0 0 急性出血性結膜炎 解除 0.00 0 0 0 0 0 0 急性出血性結膜炎 解除 0.00 0 0 0 0 0 0 0 0 電子性主政 0.00 0 0 0 0 0

学級・学年 閉鎖等の 報告件数	施設等の集 団発生件数					
0	0					
0	0					
0	1					
0	0					
0	0					
0	0					
0	0					
0	0					
0	0					
0	0					
0	0					
0	0					
0	0					
0	0					
0	0					

警報 : 警報レベル (「大きな流行の発生または継続が疑われる」を示す。)

注意報 : 注意報レベル(流行発生前なら「今後4週間以内に大きな流行が発生する可能性が高い」、流行発生後なら「流行が継続している」を示す。) ※令和7年4月7日以降の新たな基準が示されていないため、那覇市保健所では令和7年4月6日まで使用されていた警報・注意報の基準を使用しています。

■今週のトピック

性紅斑(リンゴ病)警報発生

- ・ 第37週で定点あたりの伝染性紅斑報告数は2.00になり、警報レベルの基準値である2.0を超え、 9月18日付で「伝染性紅斑警報」を発令しました。
- ・ 伝染性紅斑とは、両ほっぺたに赤い発しん(紅斑)が出て、幼児・学童に多い感染症です。
- 妊婦が感染した場合、胎児にも感染し、胎児水腫などの重篤な状態や流産となる可能性があります。
- ・ 病原体となるヒトパルボウイルスB19は、アルコール消毒が効きにくいため、「手洗い」が有効です。
- 紅斑が出ている時期にはほとんど感染力がないため、かぜ症状のある人は、 「マスクの着用」「咳エチケット」など基本的な感染予防をしましょう。



週報は那覇市保健所 ホームページでも掲 載中です。



那覇市保健所 「注目の感染症」